

|           |
|-----------|
| 記者発表資料    |
| 令和8年8月31日 |

|     |                  |
|-----|------------------|
| 所 属 | 大垣市 危機管理部 危機管理課  |
| 担 当 | 課長：國枝 主幹：宮島      |
| 連絡先 | 0584-47-7385（直通） |

## 大規模災害に備えた防災特設ページの開設について

### 1 趣 旨

令和8年熊本地震や令和8年8月千葉豪雨を受け、市民の皆様へ大規模災害への備えを呼びかける防災特設ページを開設します。

### 2 概 要

令和8年7月28日に発生した熊本地震では、多くの尊い命が失われ、甚大な被害が生じました。本市では、被災された方々の救援のため、8月4日から13日までの10日間、給水支援隊として水道部職員8人を派遣し、給水車に加え多目的車両や組立式給水タンクなど、能登半島地震で得られた教訓や知見を生かした支援を行って参りました。

さらに、今月13日からの千葉豪雨では千葉県内に大きな被害をもたらしました。

本市においても、南海トラフ巨大地震や内陸直下型地震の発生が懸念され、また、線状降水帯発生による水害リスクが高まるなか、「防災特設ページ」を開設し、個人や家庭、地域で防災対策を進めて頂くよう周知を図ります。

### 3 防災特設ページの内容

#### (1) 自助 ～自分と家族の命を守る～

大規模災害発生直後、自分や家族の命を守ることができるのは、自分自身です。今日からできる身近な備えを進めましょう。

##### ① 住宅内の安全対策

- ・寝室や子ども部屋の家具、テレビ等を固定しましょう。

##### ② 最低3日分、可能であれば1週間分の備蓄

- ・一人1日3リットルを目安とした飲料水や、食料、携帯トイレ、常備薬、オムツ等の乳幼児品、ペット用品などを備蓄しましょう。

##### ③ 家族との連絡方法

- ・集合場所や避難先の事前の約束や、毎月1日に「災害用伝言ダイヤル（171）」や「災害用伝言板」の操作を体験しましょう。

##### ④ 避難場所・避難経路の確認

- ・ブロック塀や狭い道路、アンダーパス等の危険個所を避け、安全に避難できる経路を、家族と一緒に歩いて確認しましょう。

### ⑤ 市からの防災情報を確実に受け取るための情報収集手段の確認

- ・大垣市メール配信サービス「緊急災害情報」、大垣市公式LINE「防災情報」のほか、大垣市公式のX、Facebookなどへの登録をお願いします。



メール配信サービス



公式LINE



X



Facebook

### (2) 共助 ～地域で支え合い、命をつなぐ～

大規模災害では、公的機関による救助活動にも限界があります。日頃からのあいさつや自治会活動へ参加し、「顔の見える関係」を築くことが、災害時の迅速な助け合いにつながります。

また、高齢者や障がいのある方など、配慮が必要な方への声掛けや見守り、安否確認など、「地域みんなで助かる」という気持ちを、地域全体に広げていきましょう。

#### ① あいさつや日常の交流

- ・毎日のあいさつや地域の防災訓練、お祭り等への参加を通じて顔見知りを増やしましょう

#### ② 災害弱者の見守り

- ・一人暮らしの高齢者、障がい者等、避難に不安がある方に対し、近隣住民で協力し合って救助や安否確認をしましょう。

### (3) 公助 ～市民の命と暮らしを守るため、市は防災対策を着実に推進～

市では、ハード・ソフトの両面から様々な防災・減災対策を着実に進めています。

#### ① 洪水・内水ハザードマップの整備

- ・今年度、令和2年度に作成した洪水ハザードマップの更新に合わせ、内水ハザードマップの作成を進めています（完成予定は令和9年3月）。
- ・千葉豪雨においても内水氾濫により被害が拡大したため、内水による想定される浸水範囲、水深、浸水継続時間、注意点等についてお知らせします。

#### ② 指定避難所の空調設備

- ・指定避難所となる小中学校の屋内運動場や総合体育館への空調設備の整備  
令和7年度 小学校10校  
令和8年度 小学校8校、義務教育学校1校、総合体育館（第2、第3体育館）  
令和9年度 中学校8校、総合体育館（第1体育館）  
令和10年度 中学校1校

③ **TKB48（トイレ、キッチン、ベッド・バスを48時間以内に避難所に設置）**

1) 「T」の快適なトイレ環境の整備

- ・令和7年度にトイレトレーラー3台、令和8年度にトイレカー1台を配備（予定）
- ・令和7年度に圧着式簡易トイレを64台、令和8年度に32台配備（予定）し、各地域で訓練を実施
- ・既存の簡易トイレや段ボールトイレ、マンホールトイレの組立訓練を実施

2) 「K」の温かい食事の提供

- ・災害時応援協定に基づく、キッチンカーを活用した温かい食事を提供する訓練を実施
- ・学校給食センターを活用し、実際に食材の調達と調理を行い、完成した温かい食事を避難所へ運搬する訓練の実施

3) 「B」快適な睡眠スペースや入浴機会の確保

- ・協定締結先のNPO法人Vネットと実施する入浴施設の設置訓練
- ・既存の段ボールベッドに加え、令和7年度から新たに導入を進めている、発泡スチロールベッドやプライバシーに配慮した防災用テントの組立訓練

④ **水の確保**

- ・（公社）日本水道協会による応急給水支援や、令和6年能登半島地震に派遣された職員の提案による「組立式給水タンク」の配備
- ・井戸の所有者などが災害時に提供できる井戸を登録する「災害時協力井戸」制度
- ・災害時応援協定に基づき、企業が提供する「専用水道」の活用

⑤ **電源の確保**

- ・災害時応援協定に基づく、電動車両等の支援（三菱自動車工業㈱、日産自動車㈱、トヨタカローラネット岐阜㈱、㈱ホンダカーズ東海、スズキ㈱）
- ・公用車としてEV車両の導入
- ・小中学校等の指定避難所や福祉避難所へのポータブル太陽光発電機の配備

⑥ **燃料の確保**

- ・災害時応援協定に基づく、避難所へのプロパンガスの提供（（一社）岐阜県LPガス協会、大垣ガス㈱）
- ・災害時応援協定に基づく、石油類燃料の供給（岐阜県石油商業協同組合西濃支部）

⑦ **木造住宅の耐震化**

木造住宅について、無料耐震診断のほか、耐震補強設計、耐震改修工事、耐震シェルター等設置工事に対して、その費用の一部を補助

⑧ **地震による通電火災の防止**

電源ブレーカーを遮断してから避難することや、感震ブレーカー設置の啓発

⑨ 各種情報伝達体制の充実、防災訓練・防災士養成の推進

- ・大垣市防災ポータルサイト「大垣防災」での情報発信
- ・若い世代への防災啓発を目的とした、体験ブース型の「おおがき防災フェス」
- ・防災士養成講座「大垣市防災ひとづくり塾」の実施

(4) 市民への市長からのメッセージ

災害は、私たちに時間を与えてはくれません。だからこそ、備えは「いつか」ではなく、「今」です。

今日、家具を一つ固定すること。

今日、水を一箱備えること。

今日、家族で避難について話し合うこと。

その行動が、未来の命を守ります。

令和6年能登半島地震や今回の熊本地震で得られた教訓を決して風化させることなく、一人ひとりが行動を起こし、地域全体で支え合いながら、災害に強いまちを共につくっていきましょう。